

## 第26回定期大会 開催!

2016年 7月20日 牧野コミュニティーセンター

私たちJR東海労名古屋地本は、名古屋市牧野コミュニティーセンターにおいて第26回定期大会を開き、昨一年間の取り組みの総括及び、向こう一年間の闘いの方針を承認しました。

### 改憲策動を許さず取り組みを強化



小屋敷副委員長の開会宣言で大会が始まり、議長に乗務員分科会太田代議員を選出しスローガンが提起されました。つづいて山田名古屋地本執行委員長から「参議員選に対してのお礼、今回の選挙結果で改憲の動きが加速される危機感、三重地労委勝利の成果を元に中労委を闘い抜く決意、また職場で発生している諸問題解決に向け奮闘する、特に要員問題解決に向け取り組みを強化する」など力強く挨拶がありました。

さらに、JR東海労本部小林委員長、越坂副委員長、JR貨物労組東海地本細川委員長、新幹線地本伊藤企画部長、静岡地本山本委員長、新幹線関西地本三田副委員長、名古屋地本OB会原会長、(株)鉄道ファミリー加藤営業担当部長、JR総連議員団楠副団（関ヶ原町議）ら来賓の皆様から、それぞれ連帯の挨拶を受けました。

### 結成25年特別講演「労働組合の火を消さない」

今大会は、JR東海労結成25年の節目の年であることから、国鉄改革当時からJR東海労結成、そして今日までを見続けている今井副委員長から「労働運動の火を消さない」と題し特別講演を受けました。



休会を挟んで、執行部側から経過に続いて方針の提起があり、質疑に入りました。代議員からこの一年間の取り組みの



報告や様々な職場の問題が発言され、とくにボーナスカットや年休問題など解決のために闘う決意が述べられました。荻野書記長から総括答弁がなされ、方針が満場一致で採択されました。最後に山田地本執行委員長の団結ガンバローで大会を終えました。